

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	まなび教室		
○保護者評価実施期間	2024年12月2日		2024年12月25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	49	(回答者数) 32
○従業者評価実施期間	2024年12月2日		2024年12月25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月24日		
○分析結果			
	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	運動遊びや音楽遊び、制作活動などの集団療育だけでなく、リハビリテーションの専門職が一人ひとりであった個別療育を導入していること(言語聴覚士、作業療法士、理学療法士など)	それぞれの時間設定を事前に行い、集団療育と個別療育の両方を充実させることができるようにしています。また集団療育では担当職員を決めないことで、色んな人との信頼関係を深めていけるようにしています。個別療育に関しても、日によって担当する職員、職種を変えることで、さまざまな目標や課題にフォーカスできるように工夫しています。	現在行なっていることを継続することで、子どもたちの意欲に繋げていけるようにしていきます。また保育士、専門職員など職員間で情報共有をすることで、連携をとったチーム支援を行なっていきたいと思っています。
2	事業所をご利用していただく前の見学や契約を行うことで、運営規程や支援プログラム、利用者負担等についての丁寧な説明ができていたため、安心してご利用いただけていること	見学では教室の環境設定や職員とのやりとりだけでなく、実際にご利用いただいている子ども達の様子を見ていただくことで、日々の雰囲気やイメージしやすいように意識しています。また契約に関しては、個室の使用や余裕を持った時間を確保しておくことで、ご利用者様だけでなくご家族様にも安心していただけるように心がけています。	現在行なっていることを継続することで、安心感を持ってお子さまがご利用していただけるようにしていきたいと思っています。また契約時以外にもご利用者様やご家族様からお問い合わせやご不明な点などがあつた場合には、連絡ツールや面談、電話などを用いて適切な対応ができるように周知していきたいと思っています。
3	子ども達が活動するスペースが十分に確保されていること	集団活動(保育)スペースと個別療育(リハビリ)スペースを区切ることで、それぞれの活動するスペースの認識をし、活動に意欲的に取り組むことができるようにしています。また集団活動では活動内容に応じて机や椅子などを出し入れしたり、個別療育では必要な遊具や器具以外は子どもたちから見えな場所に置いたりすることで安全に活動参加できるように行なっています。	現在行なっていることを継続することで、子どもたちが一つひとつの活動や遊びに意欲や興味を持って取り組むことができるようにします。また曜日によっては歩行が難しいご利用者様もご利用していただいているので、それぞれの場面に応じて適切な環境設定をし、過ごしやすい環境を整えていきたいと思っています。
	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所や認定こども園、幼稚園との交流やその他地域で他の子ども達と触れ合う機会がないこと	まなび教室の特色としている個別療育(リハビリ)の時間を確保することを考えると、そのような時間や機会を設けることが難しいというのが現状です。また実際にそのような交流の機会があるのか情報収集できていない部分もあります。	今後そのような機会があるとするならば、療育内容や時間の見直しを行い、職員間で連携をとりながら地域での子どもたち同士の触れ合う機会を作っていく必要があります。またそのような機会があるのか情報収集を行い、可能かどうか検討することも必要になってきます。
2	ご家族様に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング)や研修会、情報提供の機会がないこと	連絡ツールや連絡帳、面談などの中でご利用者様の様子やお困りごとについてお話をすることを意識し、家族支援プログラムを行なりましたが、ご家族様に対する研修会のご案内などの周知はあまりできていなかったように思います。	日々の療育だけでなく、面談などでご利用者様の様子をより詳しくお伝えし、必要であればご家族様に療育の中に入っていたりすることも取り入れてみてはいかがでしょうか。(その場合には時間や環境設定が必要になります)またご家族様が参加できるような研修会の案内があれば、連絡ツールにて周知するようにしていきます。
3	父母の会の活動の支援や保護者会等の開催により保護者同士の交流の機会がないこと、またきょうだい向けのイベント等の開催によりきょうだい同士の交流の機会がないこと	まなび教室の特色としている個別療育(リハビリ)の時間を確保することを考えると、そのような時間や機会を設けることが難しいというのが現状です。	今後そのような機会があるとするならば、療育内容や時間の見直しを行い、職員間で連携をとりながらどのように開催するのか検討していく必要があります。

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	公表日				公表日	利用児童数	回収数	
まなび教室	2025年2月28日				49	32		
チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・体制整備	1	31			集団療育と個別療育の部屋が分かれていて良い	個別スペース、遊具などを使用するプレイルーム、個別療育や面談などを行う個室など、活動に合わせて適切なスペースの確保を引き続き行っています		
	2	32				利用定員に合わせた適切な対応ができるような職員配置を引き続き行っています		
	3	30		2		絵カードやイラスト、写真などを用いてご利用者様が過ごしやすい環境を整えています		
	4	30	1	1		感染症対策として常時換気を行い、こまめな消毒や清掃を継続して行っています		
適切な支援の提供	5	31		1	一人ひとりの特性に合わせた支援ができています	日々の様子や情報などを職員間で共有し、子どもたち一人ひとりにあった支援を提供できるようにしています		
	6	31		1		ご利用者様がさまざまな活動や遊びに興味を持って参加してもらえるような内容を検討して行っています		
	7	30	1	1	しつかり面談等で話を聞いて頂いたり、相談したりしながら作成している	各分野での課題や目標を職員間で共有し、達成するための支援内容や支援方法を踏まえた個別支援計画を作成して行っています		
	8	29	1	2		より良い支援に繋がっていくように、現状維持して行っています		
	9	31		1		支援計画に沿った支援を行うとともに日々の様子に合わせた支援を実施することで、適切な支援へと繋がっています		
	10	28	1	3	毎月のおたよりに月報の記載があり、季節にあった内容やイベントなど工夫されています	引き続き季節に合わせた活動や運動あそび、音楽あそびなどさまざまなテーマでの活動内容をお伝えし、ご利用者様が楽しく過ごせるよう工夫して行っています		
	11	12	3	6	11	保育所に通園しているため、デイでは地域での子どもとの交流はなくても良い	個別療育の時間を確保するため、地域活動へ参加することが難しいのが現状ですが、今後社としてそのような機会ができれば検討して行っています	
	12	32					今まで通り契約時に説明をし、お問い合わせていただいた時には迅速に対応するように行っています	
	13	30	2				具体的な支援内容や支援方法をお伝えし、丁寧な説明を心がけて行っています	
	14	18	2	3	9		見学や面談、送迎対応の中で課題に対する助言を行うよう行っています。より良い支援に繋がっていくよう引き続き継続して行っています	
	15	30	1		1	面談のような機会(夫も含めてできる時)があれば嬉しい	引き続きご利用者様、ご家族様とごまめにやりとりを行い、ご家族様との連携を図って行きます	
保護者への説明等	16	28		2	2	不定期利用のため、お迎えの際に助言をもらっている	見学や面談などご家族様とやりとりできる機会を増やし、寄り添った支援を行なって行きます	
	17	30	1		1		より良い支援に繋がっていくように、現状維持して行っています	
	18	6	1	10	15	定期的に保護者同士の交流があれば嬉しい(お迎え時しか顔を合わせないため、お友だちの情報も少ないため)	今後そのような場を設けることができるように検討できればと思っています	
	19	29	1		2		苦情についての連絡先の周知を行い、スムーズな対応ができるように心がけて行きます	
	20	30	1		1		より良い支援に繋がっていくように、現状維持して行っています	
	21	27			5		引き続き毎月のおたよりを発行し、活動内容などが分かりやすいおたよりを作成していただけるように心がけて行きます	
	22	28	1		3		引き続き個人情報取り扱いには十分留意しながら療育に努めていきたいと思っています	
	23	31			1		職員が見えやすい位置に設置し、周知徹底できるように努めて行きます	
非常時等の対応	24	30		2			引き続き保育活動の中で定期的に取り入れることで、ご利用者様が関心を持つ機会を作っていきます	
	25	30		2			より良い支援に繋がっていくように、現状維持して行っています	
	26	29	1		2		より良い支援に繋がっていくように、現状維持して行っています	
満足度	27	31			1	1	最近では毎月まなびに行きたいことを伝えたり、利用がないときには認ったりすることもあり、そのくらい楽しみにしていることを感じる	ご利用者様だけでなくご家族様にも安心していただけるような事業所を作りたいと思っています
	28	31			1	1	行き来りなく、さまざまな活動を楽しんだり笑顔で参加している	ご利用者様が「やってみよう」「楽しい」「思えるような活動やあそびを提供していきたいと思っています
	29	31			1	1	連絡帳も写真つきで丁寧に記入していただき、ありがたい	引き続きご利用者様、ご家族様が満足していただけるような事業所を提供できるように努めていきたいと思っています

